

広野町 橋梁長寿命化修繕計画



日の出橋

令和4年10月

福島県双葉郡広野町

— 目 次 —

I. 様式1-1

※ () は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的	1	—国土交通省— インフラ長寿命化 基本計画における記載事項
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3	1. 対象施設
3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針 (・老朽化対策における基本方針) (・新技術等の活用方針)	6	2. 計画期間
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針 (・費用の縮減に関する具体的な方針)	8	3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期 (・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度) (・対策内容・対策の着手、完了予定年度) (・対策に係る全体概算事業費)	13	5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
6. 長寿命化修繕計画による効果	13	
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	14	

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度
及び対策内容・着手時期又は架替え時期

III. 優先順位一覧表

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 広野町の現状

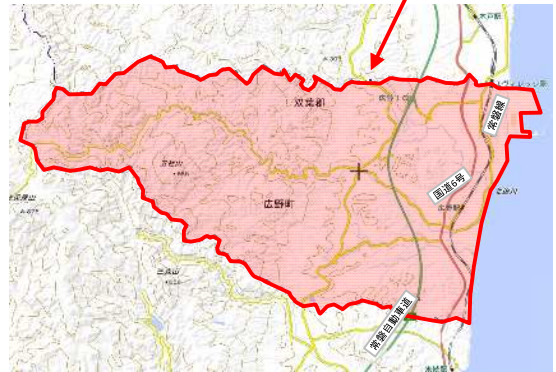
福島県浜通り中部双葉郡南端に位置する広野町は、人口4,679人（2022年9月末現在）面積58.69km²の町で、東は太平洋、西は阿武隈山地に接し、気候は海洋性で平均気温は10.9℃と一年を通して比較的温暖な町です。

町は東日本大震災の津波や福島第一原発事故の影響で、一時は緊急時避難準備区域に指定され、全町民が避難していましたが、平成23年9月末に解除され、現在は約9割の町民が町内に居住しています。津波被害を受けた広野駅東側は、防波堤や防災緑地が整備され、駅前東口広場が完成したほかビジネスホテルなども立地し、双葉地方の復興拠点として環境整備が進められています。

町には国道6号のほか、主要地方道いわき浪江線を含む6本の県道が通っており、総延長85.2kmの町道は国道及び県道へアクセスする生活道路のほか農耕用の道路、及び常磐自動車道広野ICにアクセスする道路として利用されています。

町道にかかる橋梁は49橋ありますが、JR常磐線や国道6号、及び広野ICにアクセスする県道を跨ぐ重要度の高い橋梁3橋を有していることが特徴となっているほか、管理橋梁数が少なく、また14.5m未満の小スパン橋梁が少ないことなどが特徴となっています。

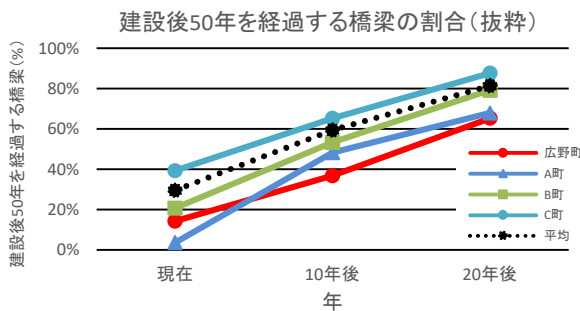
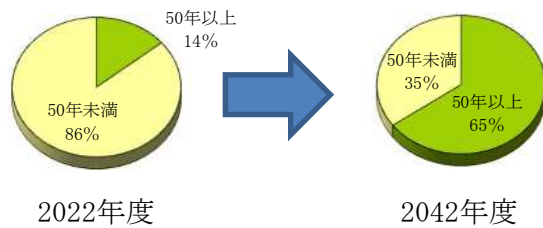
福島県内市町村位置図



2) 背景

広野町の管理する橋梁49橋の中で、2022年時点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の約14%ですが、10年後の2032年には37%、20年後の2042年には65%に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。

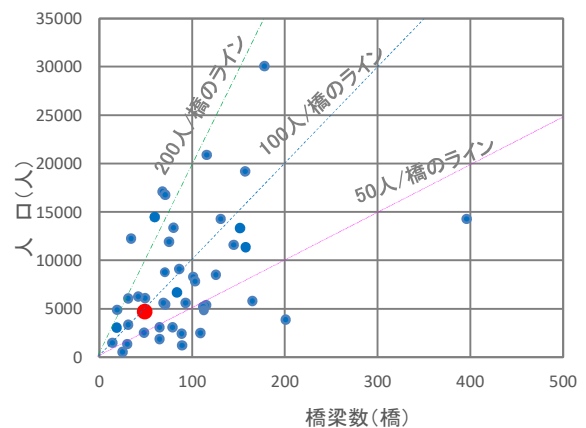


近隣町村との比較

町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
広野町	58.69	4679	79.724	49	0.8349	95.49
楡葉町	103.64	6647	64.135	84	0.8105	79.131
富岡町	68.39	11888	173.83	75	1.0967	158.51
川内村	197.35	2379	12.055	89	0.451	26.73

人口は2022年現在

福島県内市町村(抜粋)の人口と橋梁数の関係

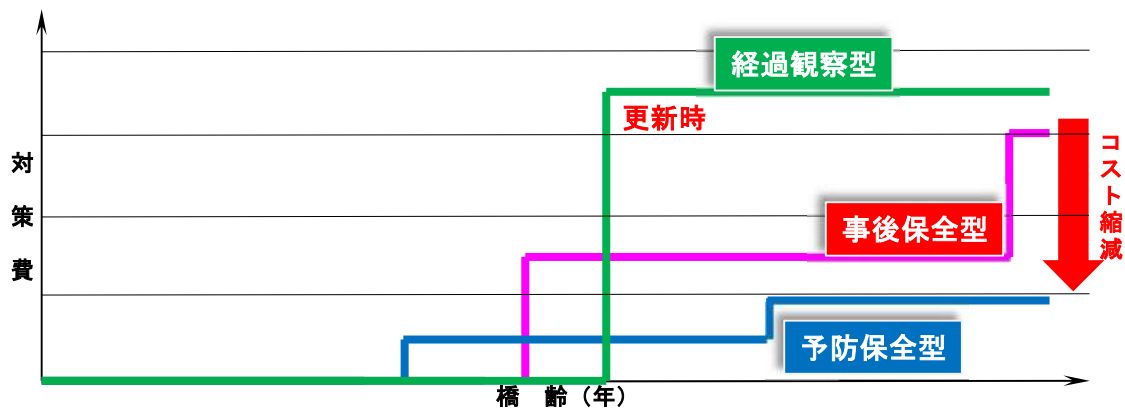
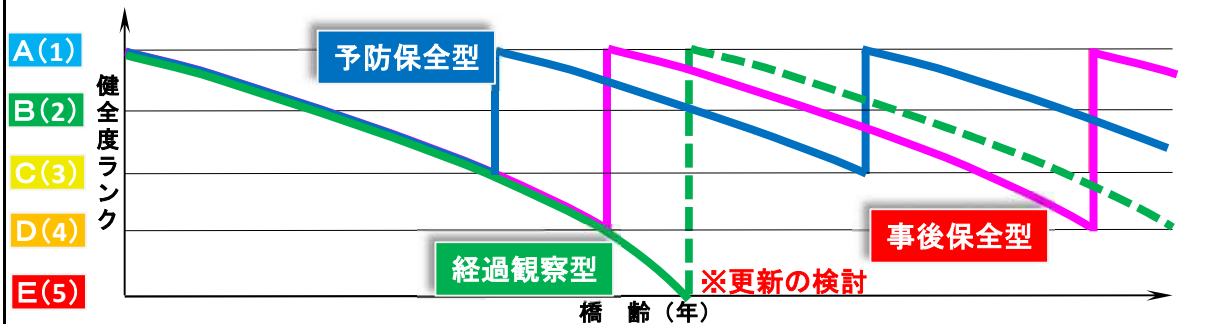


3) 目的

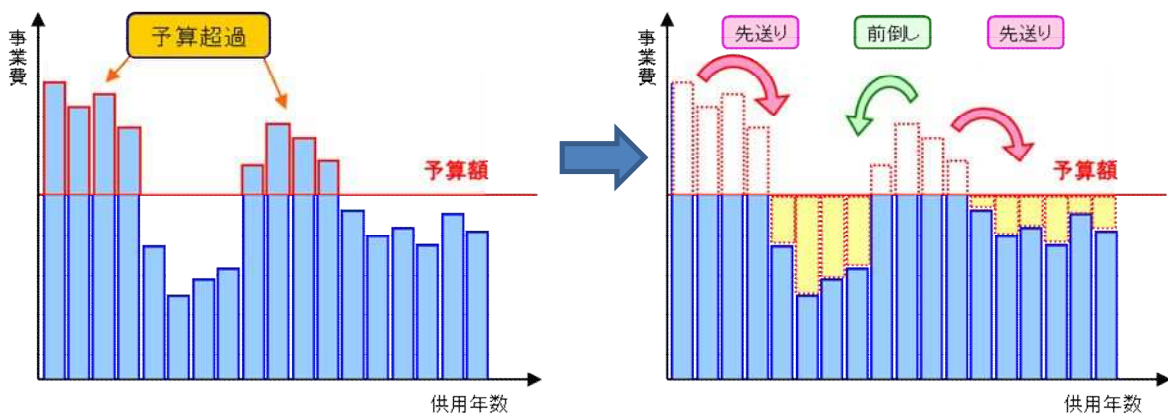
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト縮減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで広野町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ

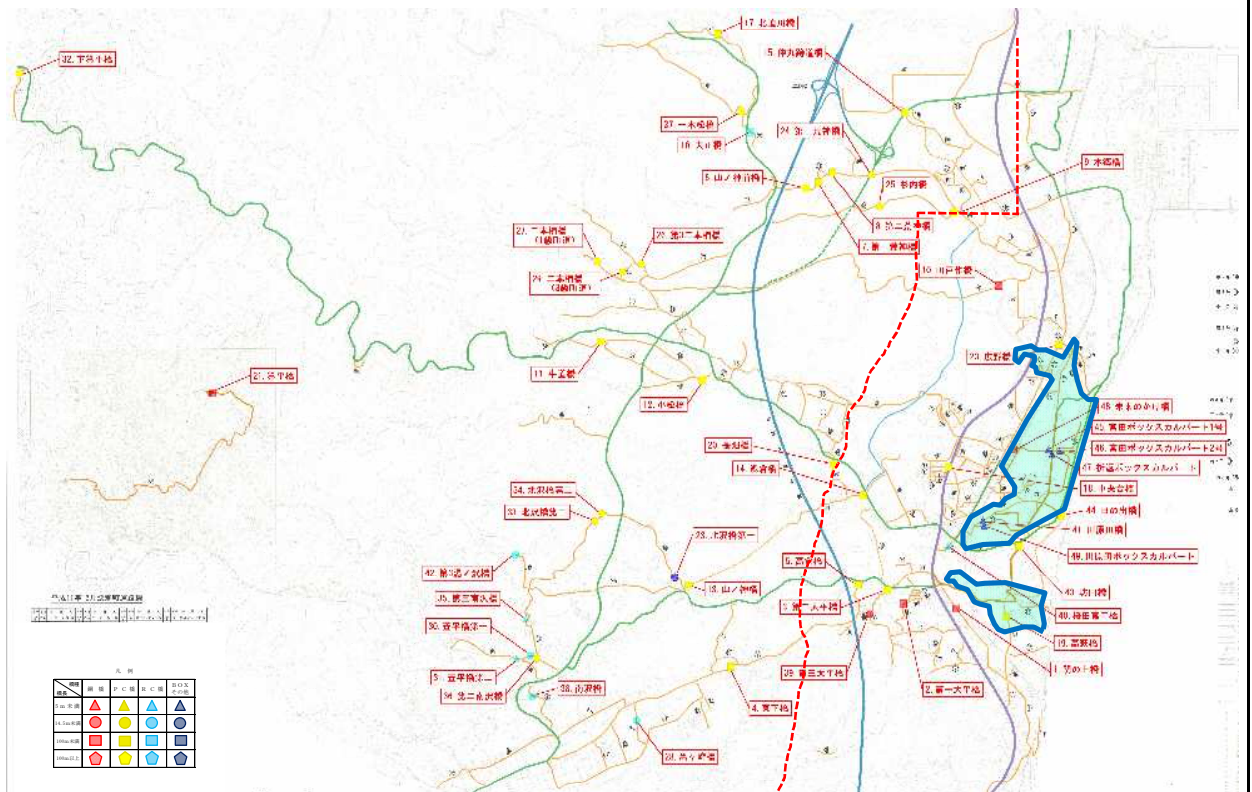


予算平準化のイメージ

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁
(対象施設)

	町道 1級	町道 2級	町道 その他	合計
全管理橋梁数	9	12	28	49
うち計画の対象橋梁数	9	12	28	49
うちこれまでの計画策定橋梁数	9	12	28	49
うち2022年度計画更新橋梁数	9	12	28	49

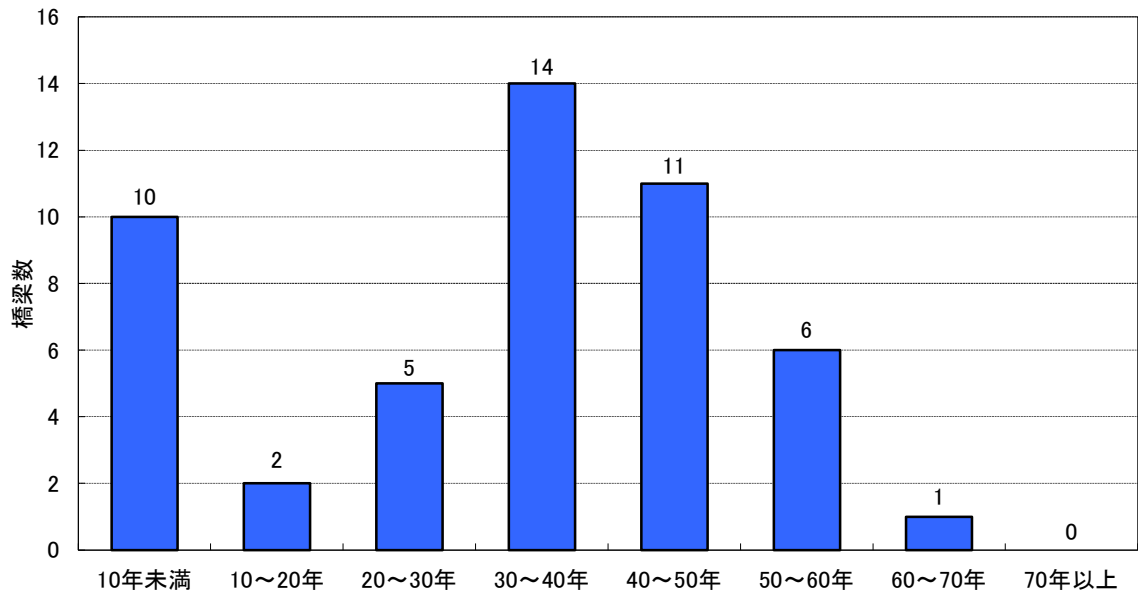
※長寿命化修繕計画の対象：広野町が管理する橋長2.0m以上の橋梁49橋を対象とします。



■ 浸水区域

--- 塩害地域 (海岸より 2 Km以内)

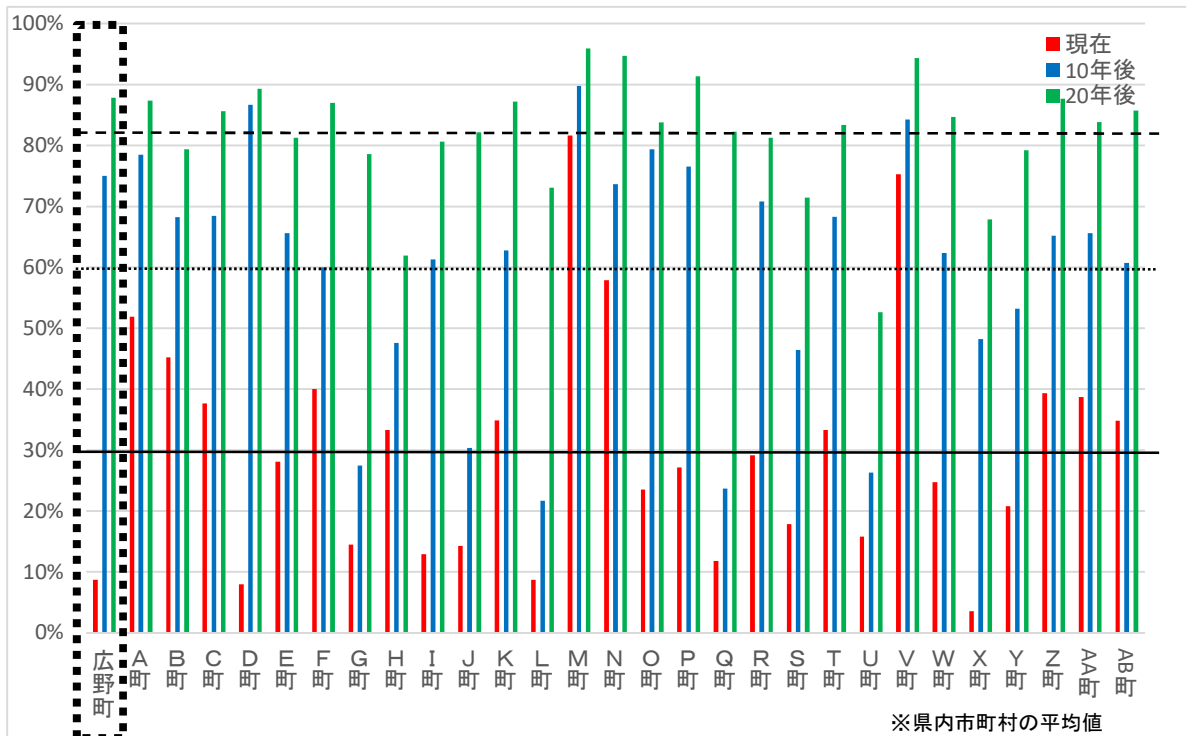
経過年数別橋梁数



経過年数別橋梁数

※長寿命化修繕計画で対象としている49橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は7橋あり、全体の14%を占めています。その内1橋は建設後60年以上を経過しています。

県内市町村（抜粋）の建設後50年以上を経過する橋梁の割合



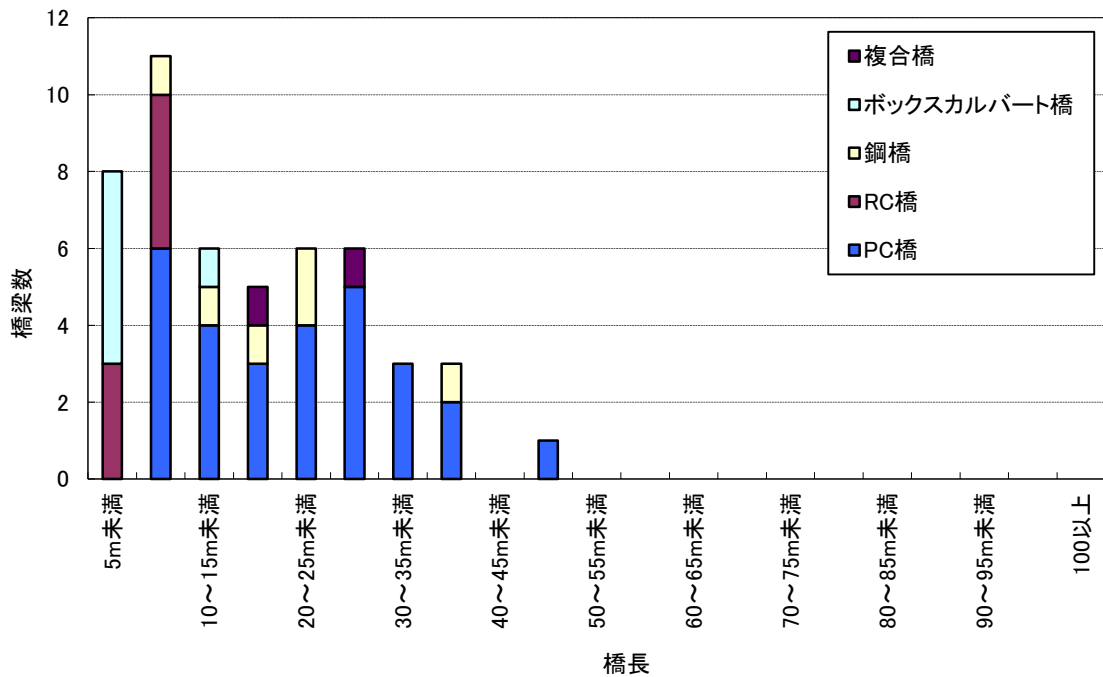
※県内市町村の平均値

黒実線：現在 (30%)

黒点線：10年後 (60%)

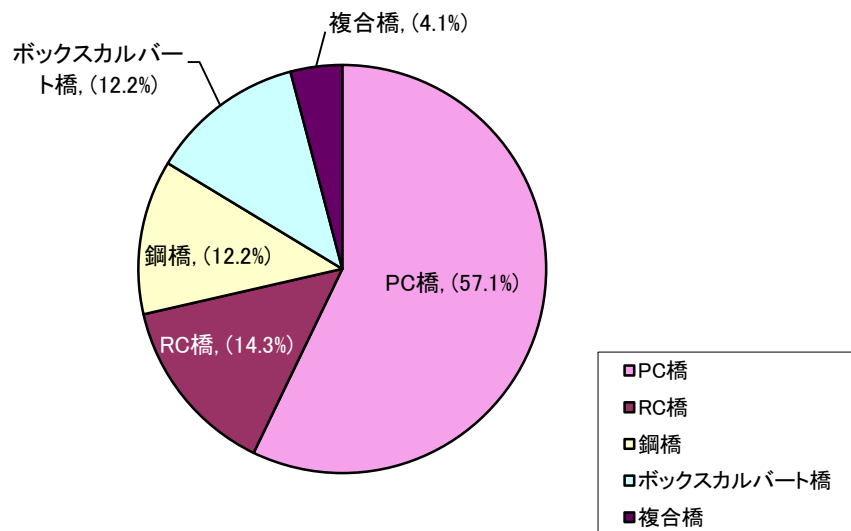
黒破線：20年後 (82%)

橋長別橋梁数



※長寿命化修繕計画で対象としている49橋のうち、15m以上の橋梁が24橋あり全体の49%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



※上部工使用材料別ではP C橋が28橋で全体の約57%、R C橋が7橋、ボックスカルバート橋が6橋でコンクリート橋が全体の84%を占めています。複合橋はプレテンT桁+プレテンI桁が1橋、R C床版+プレテンI桁が1橋です。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針
(計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

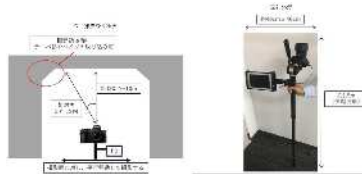
健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」(平成31年2月)に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

(・新技術等の活用方針)

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログなどを参考に、新技術の活用を検討し、有用な新技術を採用して点検費用の縮減や作業の効率化に努めていきます。また、前回点検時において判定区分が「I」の溝橋等の小スパン橋梁については、AI・画像診断の活用を検討し、費用の縮減やとりまとめ作業の効率化に努めていきます。特に、3巡目点検(令和6年度以降順次実施予定)時においては、1橋程度について新技術の活用を目指し、検討していきます。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



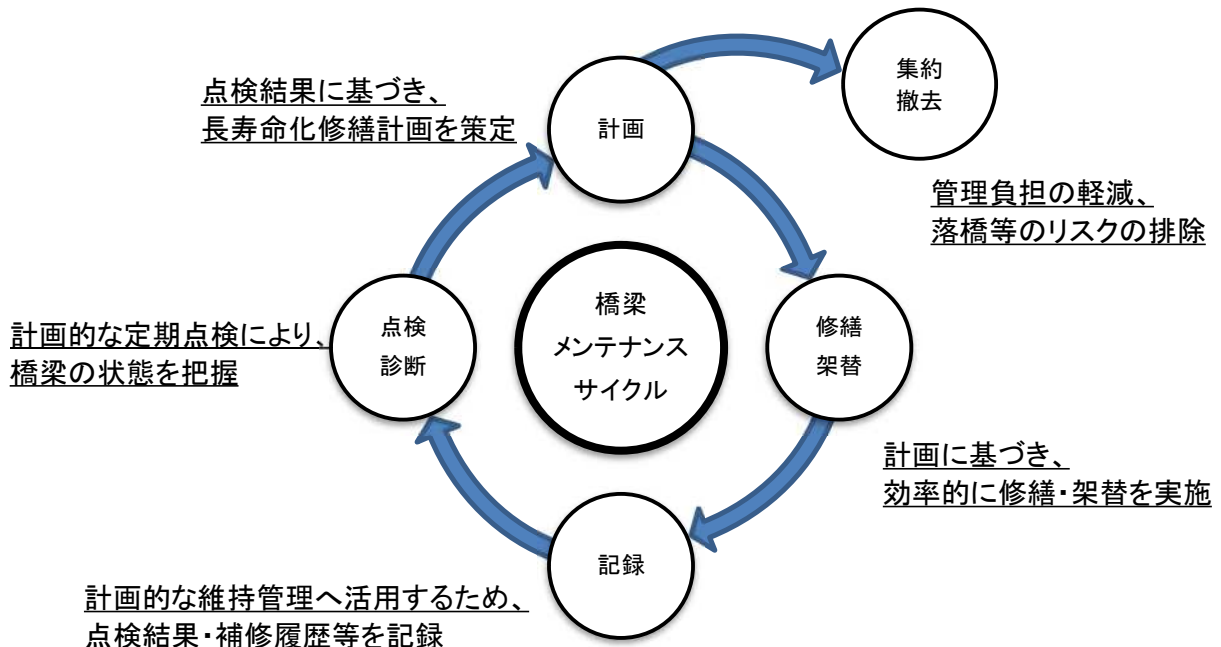
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：(出典)国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、道路作業員によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図



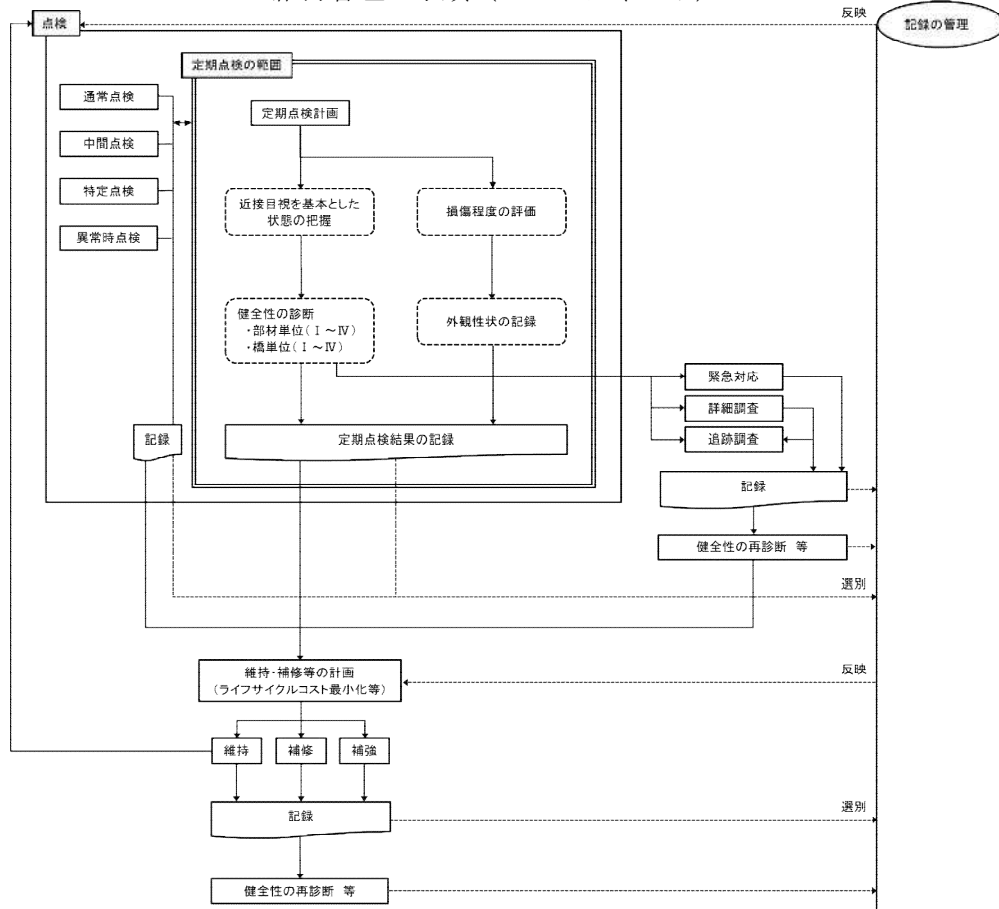
3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。(計画期間：2023年～2072年)

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方

維持管理の手順（フローチャート）



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時で行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針
(対策の優先順位の考え方)

広野町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の65%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面洗淨	桁洗淨
S	本格予防保全型 ・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1)該当3つ	健全度ランクD(4)にしない	原則架替えは行わない	○	○	② ※4	②
A	予防保全型 重要度該当2つ	健全度ランクD(4)にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B	事後保全型 重要度該当0または1つ	健全度ランクE(5)にしない	60年	○	○		⑤
C	経過観察型 ・重要度該当0かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5)になるまで	耐用年数まで	○	○		
備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1,2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は橋梁ごとに設定	※2「日常巡回」は、排水溝の清掃及び畜産面の堆積土砂除去を実施(費用は計上せず) ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保全費用を橋梁ごとに計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回	

(・費用の縮減に関する具体的な方針)

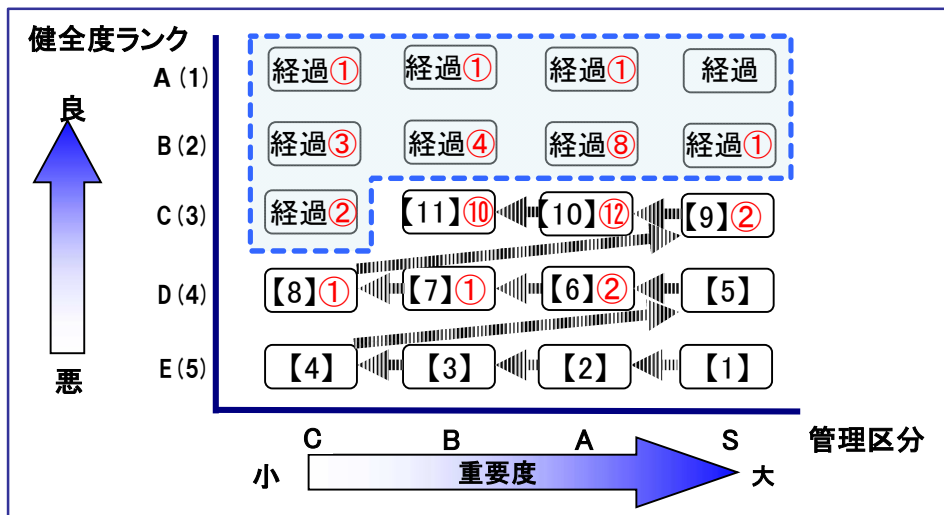
広野町の管理する橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、現在の利用状況や代替え路の有無を把握したうえで周辺住民と調整し、橋の統廃合も視野に入れた維持管理を行っていきます。

また、1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁については、ボックスカルバート（溝橋の定義外）への架け替えも検討して、点検費等の縮減に努めていきます。

※ボックスカルバートへ架け替え予定橋梁：桜田第二橋（管理橋梁の点検費用約2%縮減）

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下のマトリックスにより管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



※丸囲み数字は、該当橋梁数

3) 橋梁毎の点検結果 (個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

広野町は平成27年度～平成30年度に近接目視による1巡目の定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。また、令和元年度より順次2巡目の定期点検を実施しています。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。(判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C(3)」以上)

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	部材種別	健全度 ランク (前回)	健全度 区分 (前回)	前回 点検 年次	健全度 ランク	健全度 区分	最新 点検 年次	備 考	用
0011	牛道橋	28.07	3	PC橋	PC 床版橋その他	2.45	1964	58	主部材	C(3)	Ⅱ	H29	D(4)	Ⅲ	R3	ひびわれ	
0020	長畑橋	27.00	2	PC橋	PC 床版橋その他	2.50	1975	47	主部材	C(3)	Ⅱ	H28	D(4)	Ⅲ	R2	ひびわれ	
0035	第三南沢橋	4.50	1	RC橋	RC 中実床版	4.10	1975	47	床版、下部工	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R3	漏水・遊離石灰、その他	
0040	桜田第二橋	3.30	1	RC橋	RC床版橋(その他)	5.10	1965	57	下部工	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R3	ひびわれ、うき、洗堀	
0048	未来のかげ橋	38.40	7	鋼溶接橋	I桁(鋼床版)	0.00	2017	5	主部材、床版、下部工				C(3)	Ⅱ	R3	防食機能の劣化、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰	
0015	仲丸跨道橋	32.04	3	PC橋	その他(PC橋)	7.00	2001	21	下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、漏水・遊離石灰	
0012	小松橋	37.80	1	PC橋	ボステンI桁	5.00	2015	7	主部材、床版、下部工	B(2)	Ⅰ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	定着部の異常、漏水・遊離石灰、ひびわれ	
0006	山ノ神前橋	16.60	1	PC橋	プレテンI桁	6.75	1987	35	主部材、床版	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰	
0021	篠平橋	16.70	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	8.41	1988	34	主桁、床版				C(3)	Ⅱ	H29	腐食、防食機能の劣化、変形・欠損	
0005	高倉橋	25.40	1	PC橋	その他(PC橋)	7.00	1983	39	主部材	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰	
0044	日の出橋	49.40	2	PC橋	ボステン中空床版	7.40	2017	5	床版				C(3)	Ⅱ	H30	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	
0001	関の上橋	20.10	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.05	1975	47	主部材、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	防食機能の劣化、遊間の異常、剥離・鉄筋露出	
0019	高萩橋	24.00	1	PC橋	プレテンI桁	6.75	2000	22	主部材、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ、漏水・遊離石灰、うき、定着部の異常	
0002	第一大平橋	21.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1967	55	主部材、床版	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	防食機能の劣化、剥離・鉄筋露出、変形・欠損	
0017	北迫川橋	23.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	2000	22	床版	B(2)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰	
0010	田戸作橋	14.90	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1978	44	主部材	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	防食機能の劣化	
0013	山ノ神橋	16.10	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.50	2005	17	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ、漏水・遊離石灰	
0009	本郷橋	15.42	1	PC橋	プレテンI桁	3.70	1978	44	主部材				C(3)	Ⅱ	H29	ひびわれ	
0031	壹平橋第二	4.90	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1975	47	下部工				C(3)	Ⅱ	H30	変形・欠損、洗堀	
0033	北沢橋第三	7.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	1975	47	主部材、床版、下部工	B(2)	Ⅰ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰、その他	
0034	北沢橋第二	7.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.90	1975	47	主部材、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出	
0025	杉内橋	10.39	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.60	1970	52	主部材、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、漏水・滞水、うき、変形・欠損	
0026	第三本門橋	9.90	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	1997	25	床版、下部工	B(2)	Ⅰ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰、ひびわれ	
0039	第三大平橋	8.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.00	1986	36	主部材				C(3)	Ⅱ	H30	剥離・鉄筋露出	
0028	亀ノ崎橋	5.00	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.00	1970	52	下部工				C(3)	Ⅱ	H29	ひびわれ	
0030	壹平橋第一	5.00	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1975	47	下部工				C(3)	Ⅱ	H29	その他、変形・欠損	
0038	南沢橋	6.50	1	RC橋	RC床版橋(その他)	5.00	1968	54	下部工				C(3)	Ⅱ	H29	変形・欠損、洗堀	
0036	第二南沢橋	7.80	1	PC橋	PC 床版橋その他	8.00	1986	36	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ、漏水・遊離石灰	
0041	川原田橋	2.75	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	5.05	1985	37	側壁				C(3)	Ⅱ	H30	剥離・鉄筋露出	
0042	第三湯ノ沢橋	5.05	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.50	1978	44	下部工				C(3)	Ⅱ	H30	漏水・遊離石灰	

区分		状 態	健全度 ランク	判定区分	備 考	該当橋梁数	割 合
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A(1)	健全	損傷が認められない	3橋	6%
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	16橋	33%
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態	C(3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	26橋	53%
			D(4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	4橋	8%
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき状態	E(5)	緊急対応の必要	緊急対策の必要がある	0橋	0%

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係

3-2) 主要部材の損傷写真 判定区分「Ⅲ」健全度「D(4)」の橋梁



11. 牛道橋：プレテン床版橋
 (橋長：28.07m、1964年竣功)
 プレテン桁下面の橋軸方向ひびわれ
 ※雨水の浸入により、進行する可能性が高い。(迂回路有り)



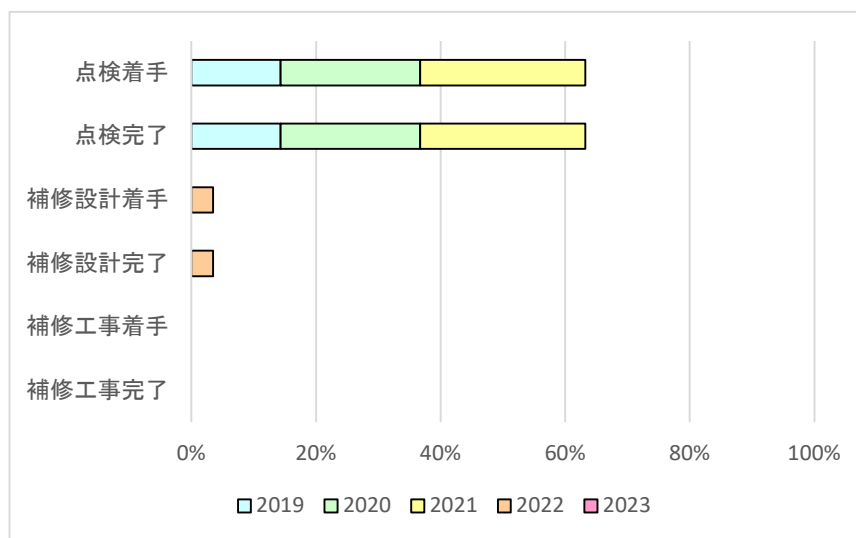
20. 長畑橋：プレテン床版桁
 (橋長：27.00m、1975年竣功)
 プレテン桁下面の橋軸方向ひびわれ
 ※雨水の浸入により、進行する可能性が高い。(迂回路有り)



35. 第三南沢橋：RC床版橋
 (橋長：4.50m、1975年竣功)
 床版下面の錆汁を伴う遊離石灰の析出
 ※雨水の浸入により、内部鋼材の腐食が進行する可能性が高い。(迂回路有り)



40. 桜田第二橋：RC床版橋
 (橋長：3.30m、1965年竣功)
 橋台前面のひびわれ・断面欠損
 ※地震等の外力により、損傷は進行する可能性が高い。(迂回路有り)



対象
N=49[橋]

対象
N=29[橋]
判定区分
Ⅱ～Ⅳ

橋梁メンテナンス事業 着手状況 (定期点検2巡目)

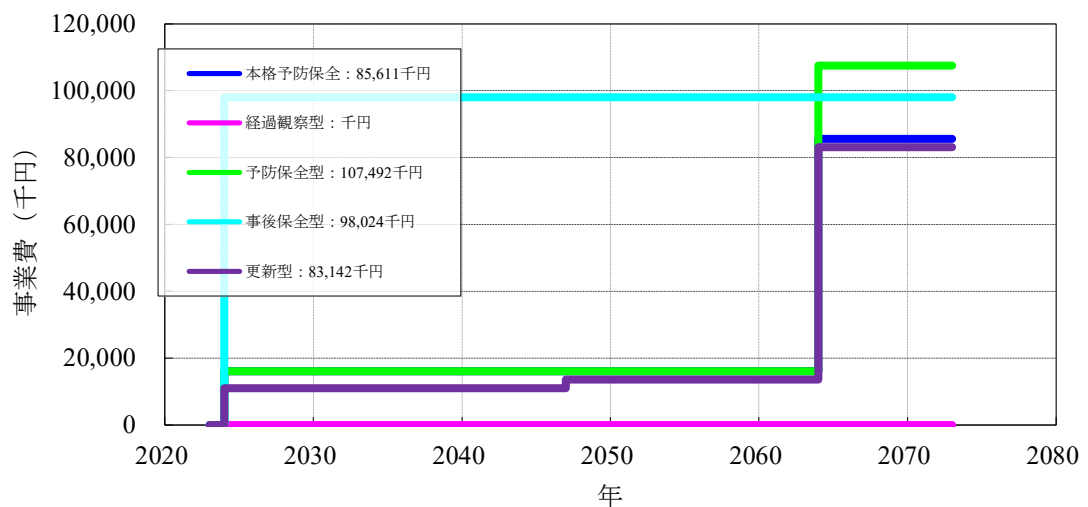
4) 修繕計画策定における管理区分を見直しする橋梁

牛道橋、長畑橋、小松橋、箒平橋、日の出橋、高萩橋、第一大平橋、北迫川橋、山ノ神橋、本郷橋、大正橋、第二大平橋、浅倉橋、坊田橋の14橋は橋長が14.5m以上の橋梁で、重要度に該当する項目が無しまたは1つであり、管理区分が「B」の事後保全型の橋梁となります。

事後保全型の橋梁は計画上の寿命設定が60年であり、下表に示す対象橋の例では架け替えのため2024年に費用が増大します。これを寿命設定が100年の管理区分「A」（予防保全型）に変更し対策を行っていくことで、管理費用の縮減が図られ、現実的な町の予算に近づけることが可能となります。

牛道橋の事業費の推移

各シナリオの累計費用



桜田第二橋は、JR広野駅へ通じる県道広野停車場線と国道6号を結ぶ、町道桜田線にあり、駅周辺や県道広野小高線から国道6号いわき方面へのアクセス路として、利用者が多いと考えられるため、順位を最上位に修正しました。なお、桜田第二橋は、令和5年度にボックスカルバート（溝橋の定義外）へ架け替え（機能縮小）を予定しています。（4位→1位）



位置図

萱平橋第二は、迂回路が林道（一部未舗装区間有）であり、距離も遠く、集落が孤立する可能性があるため、順位を修正しました。また、第3湯ノ沢橋は、渡橋した先に集落はなく、優先度は低いと考えられるため、順位を健全度ランク「C」の最下位に修正しました。（萱平橋第二：29位→19位、第3湯ノ沢橋：27位→30位）



位置図



現況写真（起点側から撮影）

左：萱平橋第二

右：第3湯ノ沢橋

5) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期（5. 対策内容と実施時期）
 （・ 構造物の諸元、・ 直近の点検結果及び次回点検年度、・ 対策内容、・ 対策の着手、完了予定年度）

様式1-2による

※補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。

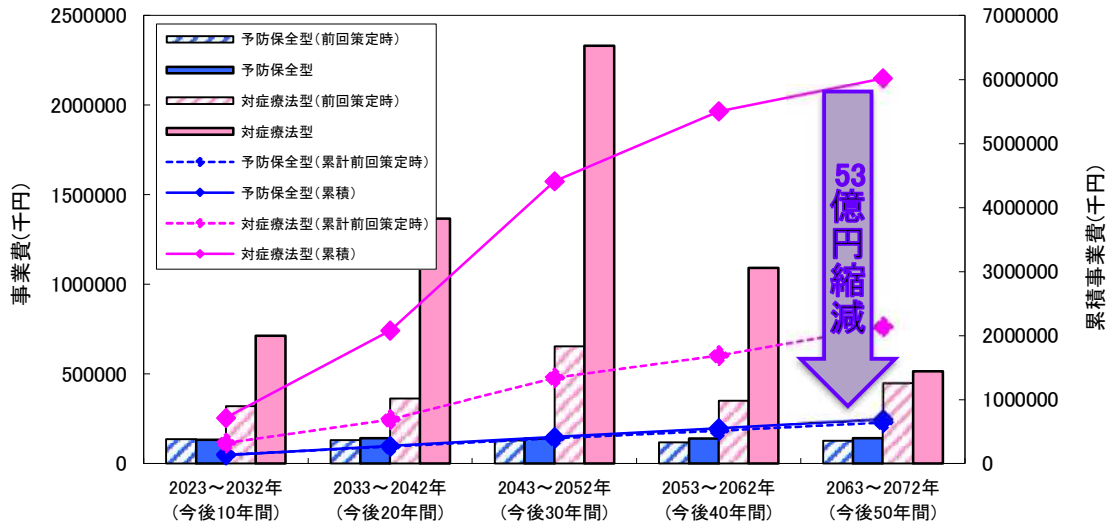
- 活用促進技術に指定されている新技術の例
 - 鋼橋の塗装：錆転換型塗装（登録番号）
 - コンクリート部材：断面修復工（登録番号）
 - 伸縮装置：（登録番号）

(6. 対策費用の概算（・対策に係る全体概算事業費）は、様式1-2、各橋梁の長寿命化修繕計画による)

6. 長寿命化修繕計画による効果

広野町が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間の予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

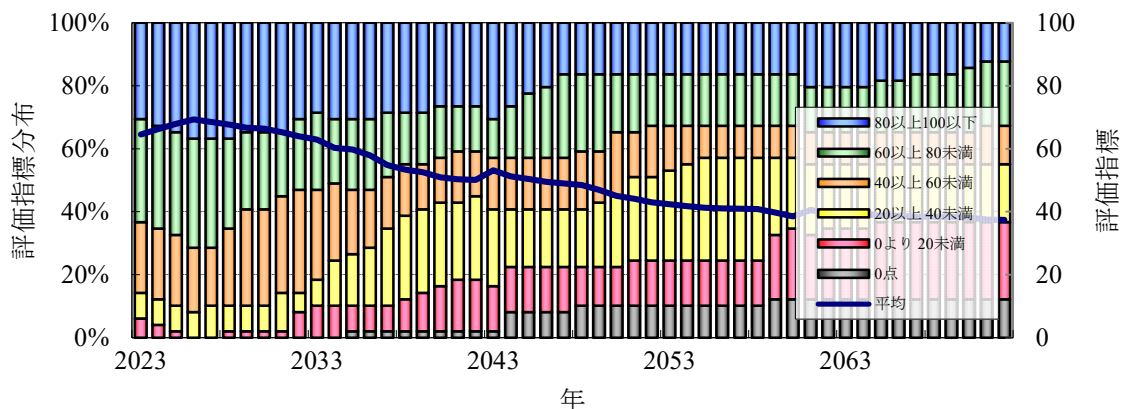
長寿命化修繕計画を策定する49橋について、年間の予算制約額を0.15億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が60億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が7億円となり、コスト縮減効果は53億円（88.3%減）となります。



※前回策定時と比較して、諸経費率が上昇し、また、中長スパン橋梁の健全度が悪化しているため、単純比較不可能

また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

評価指標分布の推移（橋梁全体）



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署
広野町 建設課 建設係 tel:0240-27-4161

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

【様式1-2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例：←→ 対策を実施すべき時期を示す。

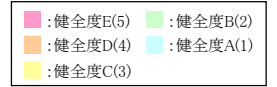
←→下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期														合計(千円)			
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14								
桜田第二橋	その他	桜田線	3.3	1965	58	R3	Ⅲ	←更新																8,848	
牛道橋	その他	南山・小滝平線	28.07	1964	59	R3	Ⅲ		←→															11,575	
長畑橋	その他	虻木線	27	1975	48	R2	Ⅲ		←→															36,406	
第三南沢橋	2級	南沢1号線	4.5	1975	48	R3	Ⅲ																	13,783	
未来のかけ橋	その他	広野駅未来線	38.4	2017	6	R3	Ⅱ																	376	
仲丸跨道橋	2級	仲丸線	32.04	2001	22	R1	Ⅱ																	45,546	
小松橋	2級	小松・南山線	37.8	2015	8	R3	Ⅱ																		
山ノ神前橋	1級	北迫線	16.6	1987	36	R1	Ⅱ																		
篝平橋	その他	上篝平線	16.7	1988	35	H29	Ⅱ																		
高倉橋	1級	高倉・亀ヶ崎線	25.4	1983	40	R1	Ⅱ																		
日の出橋	1級	高萩・田中線	49.4	2017	6	H30	Ⅱ																		
関の上橋	2級	大平・夕筋線	20.1	1975	48	R2	Ⅱ																		
高萩橋	1級	高萩・田中線	24	2000	23	R3	Ⅱ																		
第一大平橋	その他	大平・館1号線	21.4	1967	56	R2	Ⅱ																		
北迫川橋	その他	大平・鶴ヶ崎線	23.4	2000	23	R3	Ⅱ																		
田戸作橋	2級	田戸作線	14.9	1978	45	R2	Ⅱ																		
山ノ神橋	2級	中央台・山ノ神線	16.1	2005	18	R2	Ⅱ																		
本郷橋	その他	関山・土ヶ目木線	15.42	1978	45	H29	Ⅱ																		
萱平橋第二	その他	萱平線	4.9	1975	48	H30	Ⅱ																		2,635
北沢橋第三	2級	南沢1号線	7.4	1975	48	R3	Ⅱ																		
北沢橋第二	2級	南沢1号線	7.4	1975	48	R3	Ⅱ																		11,336
杉内橋	その他	関山・土ヶ目木線	10.39	1970	53	R3	Ⅱ																		
第3二本椶橋	その他	二本椶・桶地線	9.9	1997	26	R3	Ⅱ																		
第三大平橋	その他	大平・館2号線	8.5	1986	37	H30	Ⅱ																		562
亀ヶ崎橋	その他	亀ヶ崎4号線	5	1970	53	H29	Ⅱ																		
萱平橋第一	その他	萱平線	5	1975	48	H29	Ⅱ																		
南沢橋	その他	南沢4号線	6.5	1968	55	H29	Ⅱ																		
第二南沢橋	2級	南沢1号線	7.8	1986	37	R3	Ⅱ																		
川原田橋	その他	久保・桜田線	2.75	1985	38	H30	Ⅱ																		1,280
第3湯ノ沢橋	その他	南沢3号線	5.05	1978	45	H30	Ⅰ																		
中央台橋	その他	築地・中央台線	32.83	1991	32	R1	Ⅰ																		
第一荒神橋	1級	北迫線	21.3	1988	35	R1	Ⅰ																		
第二荒神橋	1級	北迫線	21.45	1988	35	R1	Ⅰ																		
東下橋	1級	高倉・亀ヶ崎線	25.95	1987	36	R1	Ⅰ																		
広野橋	2級	築地・新町線	27.3	2018	5	H30	Ⅰ																		
第三荒神橋	1級	北迫線	9.09	1985	38	R2	Ⅰ																		
大正橋	その他	鍋塚・大平線	17.1	1959	64	H29	Ⅰ																		
第二大平橋	その他	大平・館2号線	29.25	1985	38	H30	Ⅰ																		
浅倉橋	2級	中央台・山ノ神線	33.3	2018	5	H30	Ⅰ																		
一本松橋	その他	鶴ヶ崎線	13.6	1978	45	H29	Ⅰ																		
二本椶橋(1級町道)	1級	小松・二本椶線	13	1991	32	R3	Ⅰ																		
二本椶橋(3級町道)	その他	二本椶線	8.9	1995	28	H29	Ⅰ																		

凡例 : ←→ 対策を実施すべき時期を示す。

←→下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期								合計(千円)			
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		R13	R14	
下箸平橋	その他	下箸平線	10.42	1983	40	H29	I						点検					点検	
宮田ボックスカルバート1号	その他	本町・宮田線	2.9	2017	6	H30	I	点検						点検					
折返ボックスカルバート	その他	折返・宮田線	2.32	2017	6	H30	I	点検						点検					
川原田ボックスカルバート	その他	観音前・川原田線	3.4	2017	6	R2	I			点検						点検			
坊田橋	その他	高萩・坊田線	38.1	2016	7	H30	I	点検						点検					
北沢橋第一	2級	北沢線	11.05	2005	18	R2	I			点検						点検			
宮田ボックスカルバート2号	その他	防災緑地線	2.9	2017	6	H30	I	点検						点検					
合 計 (千円)								12,045	11,575	12,695	14,159	14,202	10,789	14,138	14,138	14,123	14,483		



番号	橋梁名	諸元						重要度評価指標								総合評価指標				部材健全度		優先順位 (A=100-B)	優先順位	優先順位 区分	管理 区分	管理区分内訳										余寿命 (年)	今後50年補修費用				
		橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急 輸送路	道路 等級	緊急 輸送路	橋長	車道 幅員	道路 区分	バス 路線	交差 条件	重要度 合計 (A)	耐荷性	災害 抵抗性	走行 安全性	平均 (B)					部材種別	健全 度 ランク	緊急 輸送路	道路 区分	バス 路線	該当数	評価 ①	交差 条件	評価 ②	橋長 5m未満		カルパー ト 特異形式	評価 ③	今後5年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)
0040	桜田第二橋	3.30	1	RC橋	RC床版橋(その他)	5.10	1965	57	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	55.0	15.0	50.0	40.0	下部工	D(4)	65.0	1(4)	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	0	8.8	0.0	8.8
0011	牛道橋	28.07	3	PC橋	PC 床版橋その他	2.45	1964	58	指定なし	その他	0	5	0	0	0	0	5	0.0	10.0	0.0	3.3	主部材	D(4)	101.7	2(1)	6	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	41	11.6	0.0	11.6
0020	長畑橋	27.00	2	PC橋	PC 床版橋その他	2.50	1975	47	指定なし	その他	0	5	0	0	0	0	5	0.0	35.0	0.0	11.7	主部材	D(4)	93.3	3(2)	6	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	25.6	14.5	40.1
0035	第三南沢橋	4.50	1	RC橋	RC 中実床版	4.10	1975	47	指定なし	2級	0	0	5	5	0	0	10	40.0	10.0	0.0	16.7	床版	D(4)	93.3	4(3)	7	B	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	12	13.8	35.0	48.8
0048	未来のかげ橋	38.40	7	鋼溶接橋	H桁(鋼床版)	0.00	2017	5	指定なし	その他	0	5	0	0	0	15	20	55.0	50.0	70.0	58.3	下部工	C(3)	61.7	5	9	S	-	-	-	0	C	○	S	-	-	B	-	0.4	62.2	62.6
0015	仲丸跨道橋	32.04	3	PC橋	その他(PC橋)	7.00	2001	21	指定なし	2級	0	5	10	5	0	10	30	65.0	40.0	95.0	66.7	下部工	C(3)	63.3	6	9	S	-	○	-	1	B	○	S	-	-	B	-	0.0	185.8	185.8
0012	小松橋	37.80	1	PC橋	ボスゲン桁	5.00	2015	7	指定なし	2級	0	5	5	5	0	0	15	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	66.7	7	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	41.8	41.8
0006	山ノ神前橋	16.60	1	PC橋	プレテンT桁	6.75	1987	35	指定なし	1級	0	5	10	10	10	0	35	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	86.7	8	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	247.0	247.0
0021	帯平橋	16.70	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	8.41	1988	34	指定なし	その他	0	5	10	0	0	0	15	15.0	45.0	40.0	33.3	主部材	C(3)	81.7	9	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0005	高倉橋	25.40	1	PC橋	その他(PC橋)	7.00	1983	39	指定なし	1級	0	5	10	10	10	0	35	35.0	75.0	65.0	58.3	主部材	C(3)	76.7	10	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0044	日の出橋	49.40	2	PC橋	ボスゲン中空床版	7.40	2017	5	指定なし	1級	0	5	10	10	0	0	25	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	75.0	11	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0001	関の上橋	20.10	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.05	1975	47	指定なし	2級	0	5	5	5	10	0	25	40.0	30.0	90.0	53.3	主部材	C(3)	71.7	12	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0019	高萩橋	24.00	1	PC橋	プレテンT桁	6.75	2000	22	指定なし	1級	0	5	10	10	0	0	25	40.0	30.0	90.0	53.3	主部材	C(3)	71.7	13	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0002	第一大平橋	21.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1967	55	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	20.0	70.0	40.0	43.3	主部材	C(3)	66.7	14	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	44	0.0	0.0	0.0
0017	北迫川橋	23.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	2000	22	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	40.0	55.0	45.0	46.7	床版	C(3)	63.3	15	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0010	田戸作橋	14.90	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1978	44	指定なし	2級	0	0	5	5	10	0	20	35.0	75.0	65.0	58.3	主部材	C(3)	61.7	16	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0013	山ノ神橋	16.10	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.50	2005	17	指定なし	2級	0	5	10	5	0	0	20	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	55.0	17	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0009	本郷橋	15.42	1	PC橋	プレテンT桁	3.70	1978	44	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	45.0	55.0	90.0	63.3	主部材	C(3)	46.7	18	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0031	萱平橋第二	4.90	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1975	47	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	19(29)	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	2.6	7.2	9.8
0033	北沢橋第三	7.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	1975	47	指定なし	2級	0	0	5	5	0	0	10	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	86.7	20(19)	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	12	0.0	0.0	0.0
0034	北沢橋第二	7.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.90	1975	47	指定なし	2級	0	0	5	5	0	0	10	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	86.7	21(20)	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	12	0.0	11.3	11.3
0025	杉内橋	10.39	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.60	1970	52	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	81.7	22(21)	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	7	0.0	0.0	0.0
0026	第三二本棚橋	9.90	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	1997	25	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	55.0	23(22)	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	34	0.0	0.0	0.0
0039	第三大平橋	8.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.00	1986	36	指定なし	その他	0	0	0	0	0	0	0	40.0	30.0	90.0	53.3	主部材	C(3)	46.7	24(23)	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	23	0.6	4.1	4.7
0028	亀ヶ崎橋	5.00	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.00	1970	52	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	25(24)	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	7	0.0	0.0	0.0
0030	萱平橋第一	5.00	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1975	47	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	26(25)	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	12	0.0	0.0	0.0
0038	南沢橋	6.50	1	RC橋	RC床版橋(その他)	5.00	1968	54	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	27(26)	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	5	0.0	0.0	0.0
0036	第二南沢橋	7.80	1	PC橋	PC 床版橋その他	8.00	1986	36	指定なし	2級	0	0	10	5	0	0	15	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	35.0	28	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	23	0.0	0.0	0.0
0041	川原田橋	2.75	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	5.05	1985	37	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	29(30)	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	1.3	2.1	3.3
0042	第3湯ノ沢橋	5.05	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.50	1978	44	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	30(27)	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	15	0.0	0.0	0.0
0018	中央台橋	32.83	1	PC橋	プレテンT桁	6.75	1991	31	指定なし	その他	0	5	10	0	0	10	25	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	48.3	31	経	S	-	-	-	0	C	○	S	-	-	B	-	0.0	0.0	0.0
0007	第一荒神橋	21.30	1	PC橋	プレテンT桁	6.75	1988	34	指定なし	1級	0	5	10	10	10	0	35	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	58.3	32	経	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0008	第二荒神橋	21.45	1	PC橋	プレテンT桁	6.75	1988	34	指定なし	1級	0	5	10	10	10	0	35	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	58.3	33	経	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0004	東下橋	25.95	2	PC橋	プレテンT桁	3.50	1987	35	指定なし	1級	0	5	5	10	10	0	30	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	40.0	34	経	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0023	広野橋	27.30	1	PC橋	その他(PC橋)	6.75	2018	4	指定なし	2級	0	5	10	5	10	0	30	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	40.0	35	経	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0024	第三荒神橋	9.09	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.75	1985	37	指定なし	1級	0	0	10	10	10	0	30	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	40.0	36	経	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0016	大正橋	17.10	3	RC橋	RC床版橋(その他)	3.60	1959	63	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	37	経	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	36	0.0	0.0	0.0
0003	第二大平橋	29.25	1	PC橋	プレテンT桁	5.00	1985	37	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	33.3	38	経	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0014	浅倉橋	33.30	1	PC橋	ボスゲン桁	7.50	2018	4	指定なし	2級	0	5	10	5	0	0	20	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	33.3	39	経	A														